

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【公表番号】特表 2007-502040 (P2007-502040A)  
 【公表日】平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)  
 【年通号数】公開・登録公報 2007-004  
 【出願番号】特願 2006-522469 (P2006-522469)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 R 9/02 (2006.01)**

**H 0 4 R 7/14 (2006.01)**

**H 0 4 R 9/04 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 R 9/02 1 0 1 B

H 0 4 R 7/14 K

H 0 4 R 9/04 1 0 5 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 7 月 20 日 (2007.7.20)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

フレーム、メンブレン及び駆動ユニットを備えたラウドスピーカであって、  
前記メンブレンは、略平坦な外周端及び略平坦な内周端を有し、当該略平坦な内周端と当該略平坦な外周端との間に径方向に延在する襞のパターンを有するメンブレン主部を備え

、  
前記駆動ユニットは、前記フレームに固定され磁石系を有する固定部と、電気コイルと当該電気コイルを取り付ける前記略平坦な内周端に固定されたコイル支持部を有する平行移動部とを備え、  
前記襞は、前記略平坦な外周端に向かってなだらかに細くなる形状であることを特徴とするラウドスピーカ。

【請求項 2】

前記メンブレン主部は凹状の主部であり、前記略平坦な内周端及び前記略平坦な外周端は平行な平面内にあることを特徴とする請求項 1 に記載のラウドスピーカ。

【請求項 3】

前記メンブレン主部は平坦な主部であり、前記略平坦な内周端と前記略平坦な外周端とが、略同一の平面内にあることを特徴とする請求項 1 に記載のラウドスピーカ。

【請求項 4】

前記メンブレンの前記略平坦な内周端は、前記駆動ユニットの前記平行移動部の前記コイル支持部に接着されることを特徴とする請求項 1 に記載のラウドスピーカ。

【請求項 5】

前記襞は、前記メンブレンの前記略平坦な内周端に向かってなだらかに細くなる形状であることを特徴とする請求項 1 に記載のラウドスピーカ。

【請求項 6】

前記メンブレンの端は、前記メンブレンの前記略平坦な内周端と接合する内側部分を持ち、該部分は、前記駆動ユニットから見て凹状であることを特徴とする請求項 1 に記載のラ

ウドスピーカ。

【請求項 7】

前記襷のパターンは、円周方向及び／又は径方向に不均一なパターンであることを特徴とする請求項 1 に記載のラウドスピーカ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】ラウドスピーカ

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の目的は、音声性能を劣化させることなく、及び製造を阻害することがない浅型のラウドスピーカを提供することにある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前記襷は好ましくは、前記メンブレンの略平坦な外周端及び／又は略平坦な内周端に向かってなだらかに細くなる形状である。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】